

元王者・木村章司、無敗のホープ・宮将来選手に判定勝ち！

3月10日(土)後楽園ホールで行われたスーパーバンタム級のサバイバルマッチ。WBC世界スーパーバンタム級20位(元日本同級チャンピオン・現同級5位)・木村章司VS日本スーパーバンタム級2位・宮将来選手(ヨネクラ)の一戦は初回終盤に木村が左フックからの右ストレートでダウンを奪う好スタート。4回には宮選手の右目上をカットさせ以降、宮選手のプレッシャーとカウンターに木村は速いフットワークと右アッパーからの攻めで応戦。度々披露したラウンド終盤でのラッシュでポイントを稼いだ木村が3-0(97-95、98-95、99-95)の判定で無敗のホープ・宮選手を下した。世界戦線再々浮上へ望みを繋いだ木村(29歳)は23戦20勝7KO2敗1分。一方、プロ入り初黒星となってしまった宮選手(23歳)は18戦16勝12KO1敗1分に。

王者・菊井徹平、判定負けで2度目のタイトル防衛ならず。。

さる2月12日(月)後楽園ホールで行われた日本スーパーフライ級タイトルマッチ。チャンピオン(WBC3位)・菊井徹平VS挑戦者(WBA5位)・河野公平選手(ワタナベ)の一戦は初回早々、激しい打ち合いの中で菊井が河野選手の右フックでダウン喫する波乱のスタート。2、3回は横の動きと左ストレートで形勢を立て直し、ほぼ互角に戻した菊井だが、4回からは河野選手のプレッシャーと手数に押されてしまう。そんな中でも菊井は打ち合いで8回にはポイントを取ったが、全体的に河野選手の有効打、手数が上回り、0-3(94-97、94-98、93-98)で判定を失った。2度目のタイトル防衛に失敗した菊井は(28歳)26戦21勝4KO5敗。初挑戦で王座に就いた河野選手(26歳)は21戦18勝7KO3敗。これで菊井VS河野直接対決は河野選手の2勝1敗となった。

2007年度 東日本新人王トーナメント出場選手決まる！

2007年度・東日本新人王トーナメントが4月より開幕する。ジムからは小林拓也(バンタム級=2勝1KO3敗1分)、伊藤圭太(スーパーバンタム級=4勝1KO4敗1分)、入江一哉(スーパーバンタム級=3勝2KO1敗)、加藤了三(フェザー級=3勝6敗2分)、田川智久(ライト級=1勝5敗1分)の5選手の出場が決定した。小林、伊藤は昨年に引き続き2年連続2回目の出場。加藤は7年ぶり2回目の出場。入江、田川は初出場となる。今年こそは1995年度の中澤純一(スーパーフェザー級)以来、ジム歴代2人目の東日本新人王、そしてジム歴代初の全日本新人王誕生を期待したい。

◆試合結果(07年3/19迄)

入江一幸、初のA級(8R)戦を飾る！ 池田光正、熱闘実らず。。

日付・場所	試合名・階級	選手名	結果	対戦相手
1月31日(水)後楽園	4回戦・56.5Kg契約	今関 祐介	○4回判定勝ち	原口 一喜(タムラ)
・初勝利を狙う今関。初回に右をヒットさせて好スタートを切り、その後も終始打ち終わりを気をつけたボクシングを展開し、3-0の判定勝ち！1勝2敗。				
2月12日(月)後楽園	10回戦・日本タイトルマッチ	菊井 徹平	●10回判定負け	河野 公平(ワタナベ) WBA5位
・対世界ランカー3連勝とはならなかったが、豊富な練習量で確実に力をつけている菊井。一旦、体をリフレッシュしてまた世界へ向けて頑張って欲しい。				
3月 4日(日)横浜	4回戦・フェザー級	入江 一哉	○4回判定勝ち	斉藤 晃一(大橋)
・4月18日に新人王トーナメントが控えている入江(弟)。初回から積極的に左フック中心の攻めで確実にポイントを稼ぎ、3-0の判定勝ち！3勝2KO1敗				
3月 4日(日)横浜	6回戦・バンタム級	田村 啓	●6回判定負け	名取 耕平(大橋)
・初のB級(6回戦)戦に挑んだ田村。4回に右目上をカット後、ペースダウンも有効打で上回っていたと思われたが、0-2の判定を失う。4勝1KO10敗1分				
3月 4日(日)横浜	8回戦・Sフェザー級	入江 一幸	○8回判定勝ち	土屋 治紀(大橋)
・初のA級(8回戦)戦に挑んだ入江(兄)。終盤、相手のボディーで苦しむ場面も左を多用した攻めでポイントを稼ぎ、2-0の判定勝ち！7勝2敗1分				
3月10日(土)後楽園	10回戦・56.0Kg契約	木村 章司	○10回判定勝ち	宮 将来(ヨネクラ) 日本2位
・ここ数戦、ボクシングスタイルを試行錯誤していた木村だったが、今回で答えが出たといつてよいだろう。菊井とともに今年もジムを引っ張ってもらいたい。				
3月12日(月)後楽園	6回戦・フェザー級	中川 健司	△2回負傷引分	鈴木 淳(ランド)
・初のB級(6回戦)戦の中川。初回ポイントを取るも、2回途中で偶然のバッシングで相手が負傷し続行不能。規定回数に届かず、ドロー。5勝2KO1敗1分				
3月19日(月)後楽園	8回戦・Sバンタム級	池田 光正	●8回判定負け	瀬藤 幹人(協栄) 日本6位
・8回目のランク挑戦の池田。乱戦に持ち込み、中盤にはボディー攻撃で追い込んだが、ラスト2回でポイントを失い、0-3の判定負け。13勝9KO10敗3分				

◇試合予定

増田大氣、初の日本ランカー(杉田祐次郎選手)挑戦決定！(4/25)

日付	場所	選手名	戦績	ラウンド	クラス等
4月 2日(月)	後楽園ホール	小林 拓也	6戦2勝1KO3敗1分	4回戦	東日本新人王T(バンタム級)
4月 4日(水)	後楽園ホール	鎌田 剛幸	11戦5勝1KO3敗3分	6回戦	フェザー級
4月18日(水)	後楽園ホール	入江 一哉	4戦3勝2KO1敗	4回戦	東日本新人王T(Sバンタム級)
4月23日(月)	後楽園ホール	加藤 了三	11戦3勝6敗2分	4回戦	東日本新人王T(フェザー級)
4月25日(水)	後楽園ホール	増田 大氣	10戦6勝3KO3敗1分	8回戦	Sバンタム級(日本10位と対戦)
4月26日(木)	後楽園ホール	田畑 光輝	11戦6勝2敗3分	6回戦	スーパーフライ級